

健康投資推進協議会

第1回 HSDワーキンググループ議事録

株式会社ヤマヲ 菅原恭子

開催日：令和6年4月12日
開催時間：10時00分～11時00分
開催場所：WEB会議

I. 開会：事務局

今回はリアルでお集まりいただき、大変有意義な会議となりました。本日は今年度以降の活動ビジョンとして、HSDロジックツリーをどのように構築していくかを中心に、ロールモデル、評価方法などについて話し合いたいと思います。

II. 出席者の確認：事務局

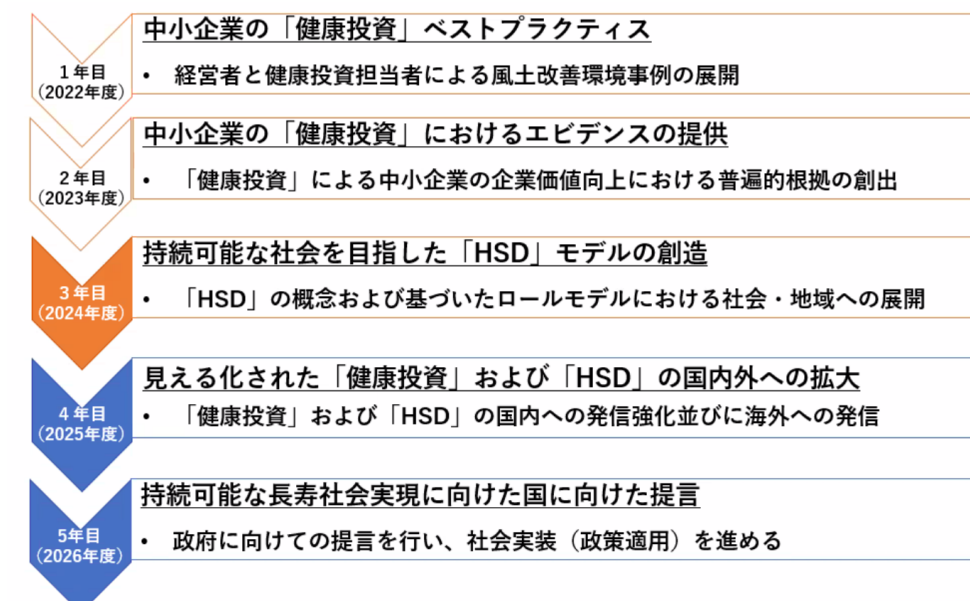
欠席のご連絡：末吉様

III. 座長挨拶：古井 祐司 先生

今年度もWGが始まりました。1年目、2年目と成果を出してきましたが、今年また新たに志のある方が参加され、いよいよ活動を広げていく局面となります。日本青年会議所とのかかわりもいただき、地域との結びつきを深められたことで、さらに持続可能な社会貢献ができると思います。よろしくお願いします。

IV. 協議事項

- (1) 本年度の活動について
健康投資推進協議会 5カ年ビジョン



健康投資推進協議会 令和6年度の体制



(2) 2024年度健康投資推進協議会

地域におけるロールモデルを展開

5月8日 (2024年度) 持続可能な社会を目指した「HSD」モデルの創造
「HSD」の概念および基づいたロールモデルにおける社会・地域への展開

- ・ 地域モデル：地域と目指す姿について

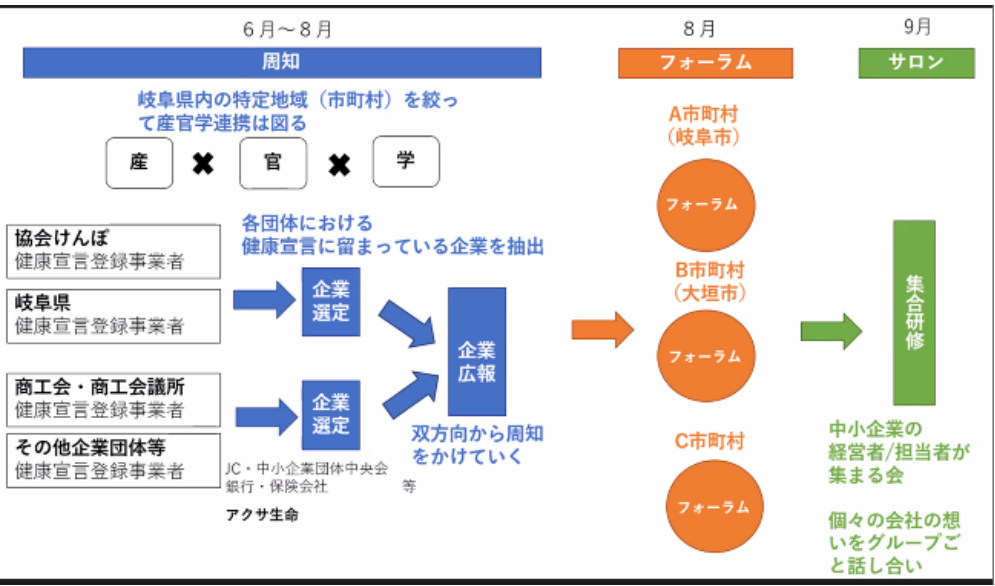
1) 新たなロールモデルエリアを確立する
2024.03.29 東京大学にて地域の選定協議：候補地（東京都・新潟県・福島県・岐阜県・熊本県）
⇒ 岐阜地区で準備・調整の方向

- ・ ロールモデルが目指す姿

→ 健康投資推進協議会として地域に與すインパクト

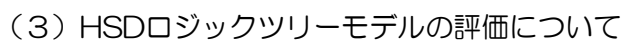
- 1) **中小企業が主体**となってその地域特性を活かした健康投資/健康経営モデル
- 2) 中小企業を取り巻く関係機関の機運を高め、その**地域全体の健康投資における活性化**を狙う
- 3) モデル事業から**他地域の社会課題にあった取り組みに繋ぐ**ためのエビデンスの創造

➡ **岐阜県知事・岐阜協会けんぽ支部長・岐阜県中小企業団体中央会 訪問**



まずはトップの方々にご挨拶をさせていただいたところです。

岐阜県における健康経営の現状



失敗しながら気づいたこと、うまくいかなかったところを**100%**達成すべく進めていきたいと思います。

ヤマヲ 菅原

ロジックツリーは何か話題があるときに社員に紹介するが、定期的に報告する仕組みとなっていない。今後は自分たちの会社の特徴を活かして項目をブラッシュアップしもっと皆と一緒にやっていけるようにしたい。地域とのかかわり、イニシアチブを意識していきたい。

ヤマヲ 岡部様

エンゲージメントアンケートなどで効果の検証をしているが、年一回の頻度であり、細かく定点観測できないのが課題。ロジックツリーの検証が1年ごとだと、作ったら満足となってしまう、継続的な活動とならない可能性がある。フォーマットをうまく変更し、1年と言わず細かく検証できることはやって、社内での周知度を上げていくべきだと思った。会社にとって重要なものであり、経営戦略まで高めることを考えていきたい。

新発田ガス 宮澤様

年一回ではなく、中間管理が必要だと思っている。弊社では集合保安研修というのがあり全体会議で女性の働きやすい職場などについて話している。

健康診断は年1回だが、やれるところは様々ある。外部講習を入れたほうが緊張感がある。イベント（血管年齢の測定会・自律神経、AGEセンサー・脳年齢・等々）アイディアがあるので年間スケジュールに入れていきたい。皆が自分の健康状態を把握しながら、会社の健康経営の拡充に取り組んで行くと良い。

トヨタ 和田様

従業員にまだ健康経営がしっかりと浸透していないかもしれないが、持続的に話をしていく。健康経営とは何か、私たちの会社が皆さまのために何をするのかを具体的に文字にして示さないとわかってもらえない。一番の目標、喫煙に関しては100%とはいかなくても少しでも進めていきたい。今年度はお弁当。揚げ物から健康的なメニューへの誘導を考えている。年配の方が多いので、すんなり取り入れてくれるか難しい。丁寧に話をして、社内落とし込みの為のまずは基盤をつくる。

ワシオ商会 鷺尾様

（数年取り組まれている立場から他社にどう進めていったらよいかのご意見を）今年も保健師との個人面談があり、ワシオ商会の従業員は健康意識が高いと言われました。積極的に取り組んできた結果。人数は少ないのでやり易い。HPにロジックツリーをのせたところ、地域の団体から声をかけてもらい経営者が集まる会に呼んでもらいましたが、自分の地域には健康経営が全く浸透していないと思った。TOPの多くが、

健康は個人情報であり、あまり踏み込めない、面倒みられないと思っている。

しかしながら少しずつでも、「社会的な役割としての健康経営」への気づきを与える役目を果たしたいと思っています。

健康管理票について

経営陣と面談をするときに社員一人一人の体調を聞く。何かしら抱えている人が多い。どうしたらよいか一緒に考える。若い男性などにはまずは野菜を勧めるなどコミュニケーションをとっている。

古井先生

ツリーの運用、会社の中での周知、社会からのフィードバック…皆さんのお話を聞いて、この活動が予防医学を社会に広げていくときの作業に似ていると思いました。個人ベースでは1週間単位で動的な評価が見えると、社員自身も、健康投資に対してわくわくを感じてくれるはず。半年に一回チェックをする構造図でも、運用面では月単位で見える化することを議論したい。

経営者、金融機関が健康は個人の責任と公言していた時代もあった。地域ではまだ残っており、経営者が従業員の健康を労働安全法としてとらえている。健康経営で社会にも貢献し、個人も会社も変わっていくことを具体的に見せなければならない。

「岐阜市だからできるけど小さい市はできない」ということではなく「一般化」していくことが重要。

静岡県で小学校で健康経営データヘルスの授業をしたが、子供なので生活習慣病にはまだ遠いかもしれないが藤枝市の特徴として説明すると、自分事となる。このように自分の会社全体としての特色、傾向を説明すると従業員も興味を持ってくれるのではないか。

高野先生

健康経営周知専門の会議を作るのは難しいので、朝礼、安全衛生委員会を利用したい。またロジックツリーに関して何か変わった話題があれば都度伝える。毎月一回クライアントとの面談をしているので活用したい。毎月管理できるものとして、勤怠がある。給与計算のチェックをすることで総務から健康に関する気づきがあるので、でそこで検証するといったやり方もあると思う。

コヤマホームサービス 小山様

ハイリスクアプローチ ⇒新入社員に臨床心理士の面談を受けてもらう
ポピュレーションアプローチ ⇒一般従業員に、健康診断の数値に関する説明会を開いて興味を持ってもらう。という考え方がある。事務部門はイベントに参加するが、

現場部門は参加しない（仕事と関係ないと思ってしまう）という傾向があります。

企業規模にもより、ステップアップしていくラインが分かれる。

リコージャパン 高木様

サステナビリティレポートの中で健康経営のことを取り上げる。HPで健康効果の評価と実績、ストレスチェックの実施率、健康イベントの報告を掲載する。

社員がそれを見てどう活かすかまだ分からない。会社のシステムとして、ポップアップで全員に必ず見てもらうようなものを立ち上げる予定。毎月22日は禁煙の日を作っている。各部署でリーダーとワンオンワンミーティングをさせている。仕事に限らず、悩みなどを話す場所。危惧があれば人事に連絡してもらう。勤怠では、有給の取得率70%を目標として掲げ、進捗を掲示している。

リコージャパン 佐藤様

「スワンスワンの日」（22日）毎月記事を作って禁煙のことを発信してきた。吸ってない人の方が多いのに時間の無駄でないかと言われたりもするが毎月健康を考える日としている。禁煙ガムを無料で配布もした。SDG s 推進員がいるので、健康経営をそこにつなげていきたい。定点観測は社員数が多いため追跡するのがひと苦勞となる。

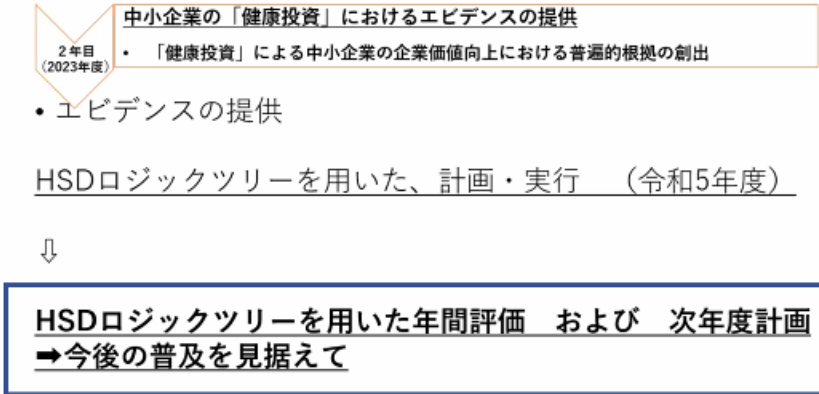
村松先生

大企業では非財務情報の取得と評価と開示が必要となっています。開示だけでは終わらずその次につなげていくことを話されています。エンゲージメントサーベイまたは生の声で評価するというやり方がありますが、項目と方向の掛け算で様々な定点観測が可能です。WGのロジックツリーは社会的健康の項目があり、各企業の多様性を評価できるシートとなっているので、例えばヤマヲさんの例を外部へ発信すれば、外国の方が多い製造業の方々に響いてくると思います。社会への拡大のため多様性を重視して、こういった項目を 細分化して定点観測していくかについてあらためて注目したいと思います。

日本水機工 堀様

人数が少ないのでロジックツリーもまだ作成中です。私が作って経営者に見せるという状況でしたが、作成時から経営者を巻き込むことが重要と感じました。年単位でなく月単位で確認できる項目を織り込み、建設業界2024年問題もあるのでその辺を絡めて特徴を出していきたいです。

ロジックツリーの後半部分（評価）について



(4) その他

協議会への参加継続申し込みの為の書類をお送りします。返送期限は4月26日ですの
でよろしくお願いいたします。

2024年4月吉日

「健康投資推進協議会」検討ワーキンググループの継続について

健康投資推進協議会
代表理事 豊田 将之
座長 古井 祐司

健康投資推進協議会は「社会・経済および雇用の課題に対して、健康増進と企業経営の
統合発展を通じて、日本社会と世界に貢献する」を基本理念に掲げ、2023年度は共に
活動いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

日本経済における持続可能な開発のための健康増進に向けた「令和6年度 検討ワーキ
ンググループ」の発足に向け、継続の意向を確認したく存じます。

つきましては、健康投資推進協議会 継続意向確認書にご回答の上、返送いただけますこ
と、よろしくお願い申し上げます。返送期日は令和6年4月26日迄といたします。

継続の意の場合、健康投資推進協議会の目的および下記の規定に賛同して参加すること
に同意したことをとする。
また、所属や選出者等に変更がある場合は下枠内を記載して提出とする。

所属先	所在	〒
		電話
①フリガナ		①役職
①氏名		
①Email		
①TEL		(日中、連絡が取れる連絡先)
②フリガナ		②役職
②氏名		
②Email		
②TEL		(日中、連絡が取れる連絡先)

v. 次回予定

<第2回ワーキンググループ>

2024年6月14日（金）10時00分～11時00分

新体制、新しいメンバーを加えてやっていきます。

5月はなくなりました。

以上